

## 1. はじめに

地域活性化において、観光客の増加は避けて通れない課題である。この課題の達成には、観光客にその地域の魅力を存分に味わってもらい、「またここへ来たい」と思ってもらうことが重要と考えられる。しかし、何が魅力的かは観光客一人一人の好みによって異なる。我々が開発したシステムは、観光客一人一人の好みを分析し、各々の好みに合った観光コースを提案することで、前述の課題の達成を図ったものである。

## 2. システムの概要

本システムは「その地域へ観光に行く人(観光客)」及び「その地域の観光を支える人(商店)」を対象としたスマートフォン向けアプリケーションである。システムの流れは、まず観光客がその地域へ観光したい日時や場所などの情報を入力する(図1中①)。次に、システムがその観光客のスマートフォン内の写真・音楽・SNS にアクセスし、好みを分析する。分析した好みに基づいて、システムが最適な観光コースを観光客に提案し、観光客はその中から1つを選ぶ(図1中②)。当日、システムはそのコースを道案内する(図1中③)。本システムの構成を図2に示す。

## 3. 好み分析→コース作成の方法

本システムの好み分析はミルサバ・キクサバ・イウサバの3種類の方法でキーワードを取得することで行い(図2中赤矢印(→))、どの方法を適用するかは観光客が選択できる。ミルサバではスマートフォン内の写真からキーワードを取得する。同様にキクサバでは音楽の曲名やジャンルなどから、イウサバではTwitterやFacebookでの投稿内容からキーワードを取得する。取得したキーワードを集計し、出現頻度が高かったものを観光スポットのデータベースと照合し、観光スポットを選定する。選定された観光スポットを通るように、システムはコースを複数作成する。

## 4. 商店向け機能

本システムには前述の観光客向け機能とは別に、商店に向けて、①観光客の位置モニタリング機能、②到着10

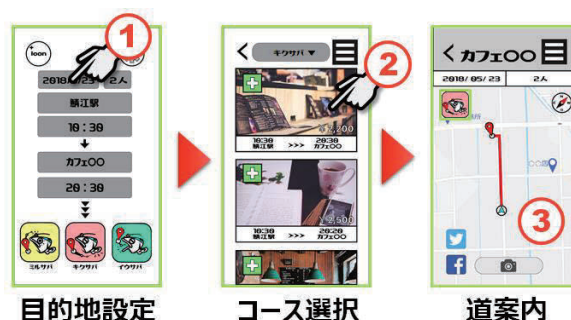


図1 システム概要

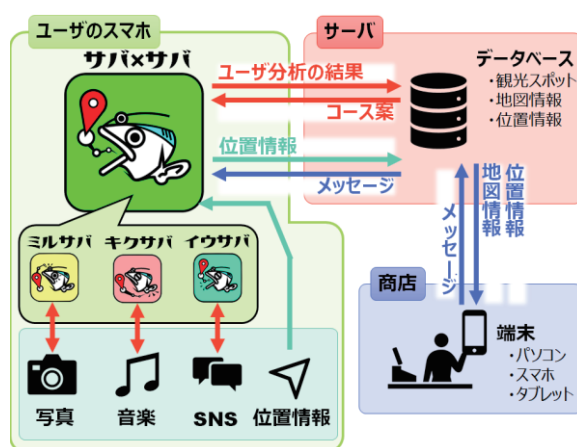


図2 システム構成

分前通知機能、の2つの機能が存在する。①の機能は、本システムを利用して観光中の全観光客の位置情報がサーバに送信される(図2中緑矢印(→))。商店はそのサーバにアクセスすることで、全観光客の位置情報をモニターできる、というものである。②の機能は、同じく観光中の観光客について、コース中の商店にあと10分で到着するとシステムが判断した場合、その商店にもうすぐ着く旨の通知を送信するものである。さらに、通知を受信した商店は現在の混雑状況を返信することができる(図2中青矢印(→))。これらの機能を活用すれば商店は、観光客が「いっどこに集中しているか」といった観光分析をしたり、もうすぐ到着する観光客に対して準備を行ったりすることができ、観光客に対してより良い観光を提供することができる。

## 5. 観光スポットのデータベース

観光スポットのデータベースは、福井県鯖江市の商店街を中心に実施したアンケートより作成した。